

主の祈り (93-5A)

天にまします われらの父よ
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく、地にもなされたまえ
われらの日用の糧（かて）を、今日もあたえたまえ
われらに罪をおかすものを、われらがゆるすごとく
われらの罪をもゆるしたまえ
われらをこころみにあわせず、悪よりすくいだしたまえ
国と ちからと さかえとは、かぎりなく、
なんじのものなればなり

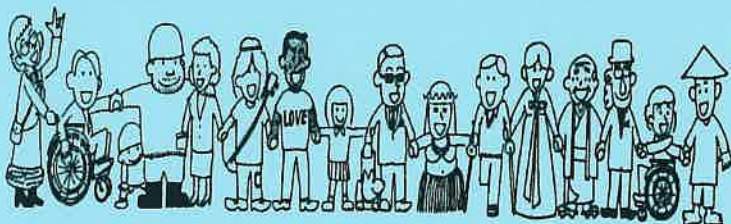
アーメン

石巻栄光教会宣教基本方針

石巻栄光教会は、主なる神と出会ったイエス・キリストの体です。神様が愛している一人一人のかけがえのなさを思い出し、この世界を神様が大切にしていることを思い出す場所です。石巻栄光教会は、希望を生み出します。

私たちは、この社会の現実の中で生きています。教会の中だけでの満足にとどまらず、社会に生きる人々の痛みや苦しみ、あるいは楽しみを共にしていくこと、そして、悩みや不安を分け合って喜びに変えていく教会になることを願います。

また、一人一人の生き方を尊重するとともに、神様から一人一人に与えられている賜物を活かして、神さまと人を愛し、感謝しながら地域に仕えていく教会を目指します。



日本キリスト教団 石巻栄光教会

〒986-0854 石巻市大街道北2丁目12-3

電話/FAX: 0225-22-4090

ホームページ: <http://tohoku.uccj.jp/i-eikou>

メール: i-eikou@tohoku.uccj.jp

振替口座: 02280-8-2810

教会創立: 1887年9月25日

集会案内

聖日礼拝	毎週日曜日	午前10:30
早朝礼拝	毎週日曜日	午前7:30
交わりの会	毎週日曜日	礼拝後
み言葉と祈りの会	毎週水曜日	午後7:30

2026年度標語 『これは、人の意志や努力ではなく、
神の憐れみによるものです』

- ◎ 聖日礼拝を共に守りましょう。
- ◎ 日ごと聖書に聞き、祈りましょう。
- ◎ 家族・地域に福音を届けましょう。
- ◎ 平和を創り出すために働きましょう。

No.2525		復活後第三主日 礼拝式順序		2026年4月26日	
		受付 司会 献金 奏楽		礼拝当番は 礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。	
前奏					
招きの言葉	[1] 詩編第100編1～2節				司会者
讃美歌	28				一同
子どもたちへのお話 または 悔い改めの黙祷					
讃美歌	56 (1節)				一同
聖書	ヨハネによる福音書 20章19～23節 (特に21節)				
(新約聖書210ページ)					
祈り					司会者
讃美歌	493 (1節)				一同
お話	「閉ざされた心に訪れる主の息」				
中澤竜生 宣教師					
讃美歌	493 (2-3節)				一同
献金					一同
報告					司会者
讃美歌	88				一同
祝福の祈り					
後奏					
* 当教会では 着席のまま礼拝を守っています。 * 旧約聖書は前半 (P.1502まで)、新約聖書はその後ろです。 * 献金の額はいくらでも結構です。持ち合わせがないときは次の機会に。					
∞○∞○∞○∞○∞ おしらせ ∞○∞○∞○∞○∞					
本日の10時半からの礼拝は中澤竜生宣教師・佳子牧師にご奉仕を賜りました。 深く感謝いたします。川上牧師は、昨日、 神戸にてチャリティーコンサートに参加して、石巻を留守にしています。					

∞∞∞∞∞∞ 今週の集会 ∞∞∞∞∞∞	
☆ 「初心に帰ってルカ福音書を読む」 4月28日(火)10:30～	オンライン併用
☆ 「御言葉と祈りの時」 4月29日(水)19:30～	オンライン併用
☆ 「大人の教会学校」 4月30日(木)10:00～	オンライン併用
∞∞∞∞ 次週の予告 (5/3) ∞∞∞∞	
☆ 復活後第四主日礼拝 (お話：川上直哉 牧師)	
[聖 書] 詩篇98編1節 [お 話] 「新しい歌を」 [讃美歌] 27 56 327 89 [招きの言葉] 45	
受付	礼拝当番は礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。
奏楽	

- ∞○∞○∞○∞○∞ お知らせ ∞○∞○∞○∞○∞
- ❖今後の予定は以下の通りです
- ・5月3日(日) 日本基督教団柴宿教会の礼拝担当(14時半～)
 - ・5月10日(日) 日本基督教団いずみ愛泉教会の礼拝担当(14時～)
 - ・5月24日(日) ペンテコステ(聖霊降臨日)
 - ・5月26～27日(火～水) 東北教区総会(教区センター・エマオにて)
 - ・6月7日(日) 齋藤先生が10時半の礼拝を担当
 - ・6月14日(日) 中澤先生が10時半の礼拝を担当
 - ・6月20日(土) 宮城北地区総会(石巻栄光教会にて・13時～)

《 先週の集会統計 》			
聖日礼拝	17人	み言葉と祈りの会	6人
早朝礼拝	5人	聖餐式	5人
月定献金		特別献金	
庄司浩美 (4月～3月) 白井豊子 (4月) 穴戸珠美子 (4月～3月) 石井龍子 (4月～5月)		渡邊邦子 (聖餐式感謝) 庄司浩美 (受洗記念・イースター・クリスマス・ 夏期・特別・昼食感謝) 石井龍子 (孫入学感謝・國分正助召天記念)	
席上献金	¥40,710		

週報別冊

2026年4月26日号

1. 教会宛に、以下の通信が届いています。

【日本基督教団・東北教区関係】

- 「会津新生」(会津農村伝道センター)：高橋真人さんの追悼文等が掲載されています。
- 「婦人会総会」(宮城北地区教会婦人会)：5月12日(火)11時から塩釜東教会にて総会を行う事の連絡を頂きました。
- 「スタッフ募集」(東北教区放射能問題支援対策室いずみ)：週4日程度・自給1100円で、スタッフを募集中とのことです。

【その他教会・団体関係】

- 「食と農と健康を考える講演会2026」(食と農と健康を考える市民の会)：6月21日(日)13時半から、石巻専修大学にて、「家族農業が世界を変える」と題して、愛知学院大学経済学部教授の関根佳恵さんの講演が行われます。そのチラシを頂きました。
- 「コンサート」(雄勝ローズファクトリーガーデン)：5月30日(土)と31日(日)に二胡と尺八、ジャズのコンサートが開催されます。そのチラシを頂きました。(5月30日は、牧師も参加しようと思っています。朝9時に教会にお越しくださいましたら、一緒にいただけます。どうぞ、お覚えください)。

2. 牧師動静

4月20日(月)

午前中、東北学院大学図書館で調べ物をし、お昼から仙台キリスト教連合世話人会に出席し、夜、オンラインでワイズメンズクラブ国際協会第29回東日本区大会ホスト委員会に出席しました。

4月21日(火)

午前中、休暇を頂き、午後、「全国キリスト者災害支援ネットワーク」の総会にオンラインで出席しました。

4月22日(水)

午前中、教会で事務を執り、午後、十三浜で「キリシタン読書会」を主宰し、夜、祈祷会を主宰しました。

4月23日(木)

午前中、一件の訪問をして聖餐式を行い、夕方、電気業者さんの接遇をし、夜、オンラインで読書会に参加しました。

4月24日(金)

日中、石巻グランドホテルでワイズメンズクラブ国際協会第29回東日本区大会の会議をし、夜、石巻広域クラブの役員会に出席しました。

4月25日(土)

朝から神戸へ行き、神戸ポートクラブ主催のコンサート(会場は日本基督教団神戸聖愛教会)に参加していました。

- 6月6日に行われるYMCA後援会(ワイズメンズクラブ国際協会)の石巻大会の準備が進んでいます。当初目標としていた「300人」を、すでに超える登録者があり、被災地の今をご案内する良い機会となりそうです。どうぞ、良い会となりますよう、祝福をお祈りください。
- 本日の礼拝に中澤宣教師夫妻のご奉仕を賜りました。6月には齋藤朗子牧師のご奉仕も賜ります。たくさんのご助力を頂き、今年もまた一歩を進められますことを、心から感謝しています。

4月27日(月)

休暇を頂きます(タイヤ交換などをしています)。

4月28日(火)

午前中、「初心に帰ってルカ福音書を読む」を主宰し、午後、ワイズメンズクラブ国際協会第29回東日本区大会の準備で河北総合センタービックバンに行っています。

4月29日(水)

休暇を頂きます(すみません、祈祷会は録画配信です)。

4月30日(木)

午前中、一件の訪問をして「大人の教会学校」と聖餐式をし、午後、仙台で東北ヘルプの事務を執ります。

5月1日(金)

日中、教会で執務し、夜、世界食料フォーラム仙台の会議をオンラインで主宰します。

5月2日(土)

午前中、休暇を頂き、午後、石巻市博物館での催事に参加し、夜、「多文化共生国際墓苑設立委員会」に出席します。

※牧師と面会をご希望される方は、どうぞ、ご遠慮なく教会のメール宛、ご連絡ください。上記日程を調整して、お会いしたく存じます。

P. I. フォーサイス『キリスト者の完全』から

・・・だから、罪を抱えていきましょう。

そして、その罪を、信仰によって支配することです。

魂の基底部から吹きあがってくる罪の圧力を用いて、

神へと昇り行きましょう。そうして

神との交わりを保ってください。

そのために、信仰が必要です。

信仰によって、罪をいつも足元に

しっかり留め置かなければなりません。

<中略>

あなたの本質の奥深くから、

力があふれ出てくる時があると思います。

その力の源であるあなたの本質は、あるいは、罪によって

歪(ゆが)んでしまっているかもしれない。

それでも、その力を、神の御手に委ねて、展開してください。そうして

あなたは、神の御手の中であなた自身になって行くのです。

その時、その力によって、あなたの本質には回心が与えられます。

その時、あなたの本質は制御可能なものとなり、

有用で昇華されたものとなるのです。

私たちは罪から切り離されています。それは本質的な事実です。

しかし、それでもなお、罪は私たちに纏(まと)わりつきます。

構造の部分は刷新されました。しかし、宿痼(しゅくご)は、

その力を落としながらも、なお、私たちを悩ませ続けているのです。

私たちの内には新しい性質が創り出されました。

その性質それ自体が、反動の波を乗り越えて、自ら展開しているのです。

私たちは「エジプトの肉鍋」を恋焦がれる者です [『出エジプト記』16:3]。

同じところをぐるぐると行き戻るのが私たちです。しかし、それは結局、前進する私たちの大回りの迂回路に過ぎないのです。

敵はゲリラ戦術に出ています。私たちが遺憾に思う事柄を衝(つ)いて、奇襲を仕掛けてきます。敵は撤退戦に出ています。

時々、痛手を喰らいながら、しかし私たちは前進するのです。

ですから、いくつかの敗戦が問題なのではありません。問題は、その戦いの全体にかかっているのです。

私たちは、罪を犯します。

しかし、私たちは「罪から生まれた者」ではありません。

私たちは、罪を征服しているのです。

罪は取り押さえられた囚人のようなもの・

私たちは罪を閉じ込めている看守のようなものです。

時に、囚人が看守を取り押さえ、打ち負かすことがあるかもしれません。

しかし、私たちが罪に屈服することはありません。

実に、罪が私たちの支配者となることはないのです。

罪が私たちの人生を舞台として自らを表現することも、

あるかもしれません。しかし、その罪が

私たちの人生の原理になることはありません。

私たちは罪を犯します。

しかし、「死に至る罪」を犯すことはないのです。

どんなことがあっても、

私たちには父の身許にいる弁護者がいて、味方をしてくれます。

私たちはその弁護者に頼るのです [『ヨハネの手紙第一』2:1-2]。

罪に対抗するべく、私たちは自分自身を神の側に据え付けるのです。